

# 第5回地域キャリア教育支援協議会

# 第4回地域キャリア教育支援協議会 タイムライン

- |                      |                                  |
|----------------------|----------------------------------|
| <b>15時00分～15時10分</b> | 三宅課長ご挨拶 & 前回の振り返りと、本日のゴールの確認     |
| <b>15時10分～15時20分</b> | プログラムについて～前回のご意見と、作成方針等～         |
| <b>15時20分～16時00分</b> | 「プログラム」表現や写真等お気づきの点の最終ディスカッション   |
| <b>16時00分～16時10分</b> | 今年度協議会全体の総括（事務局、田中より）            |
| <b>16時10分～16時20分</b> | 来年度取組予定の内容紹介（後明さんより）             |
| <b>16時20分～16時35分</b> | 改めて協議会全体を振り返って、「成果」「来年度以降の宿題事項」  |
| <b>16時35分～16時50分</b> | お1人お1人、今後に向けた宣言。協議会に参加しての感想等を発表。 |
| <b>16時50分～17時00分</b> | 総括コメント & 写真撮影                    |

# 支援協議会設置の目的

## 1. 横浜の子どもたちの豊かな学びや、より質の高い「自分づくり教育」を実現していくため

- 「横浜市キャリア教育推進プログラム」の作成、配布による企業への啓発活動強化  
⇒ 学校と企業との協働が進みやすいモデル事例、協働ステップ、等の情報発信

## 2. 学校の「協力してほしい」、企業の「協力したい」の相互理解不足を減らしていくため

- 「キャリア教育に関わる教育活動へ協力いただける企業一覧」のブラッシュアップ、数の充実化  
⇒ 学校への情報提供充実により、学校負担の軽減へ

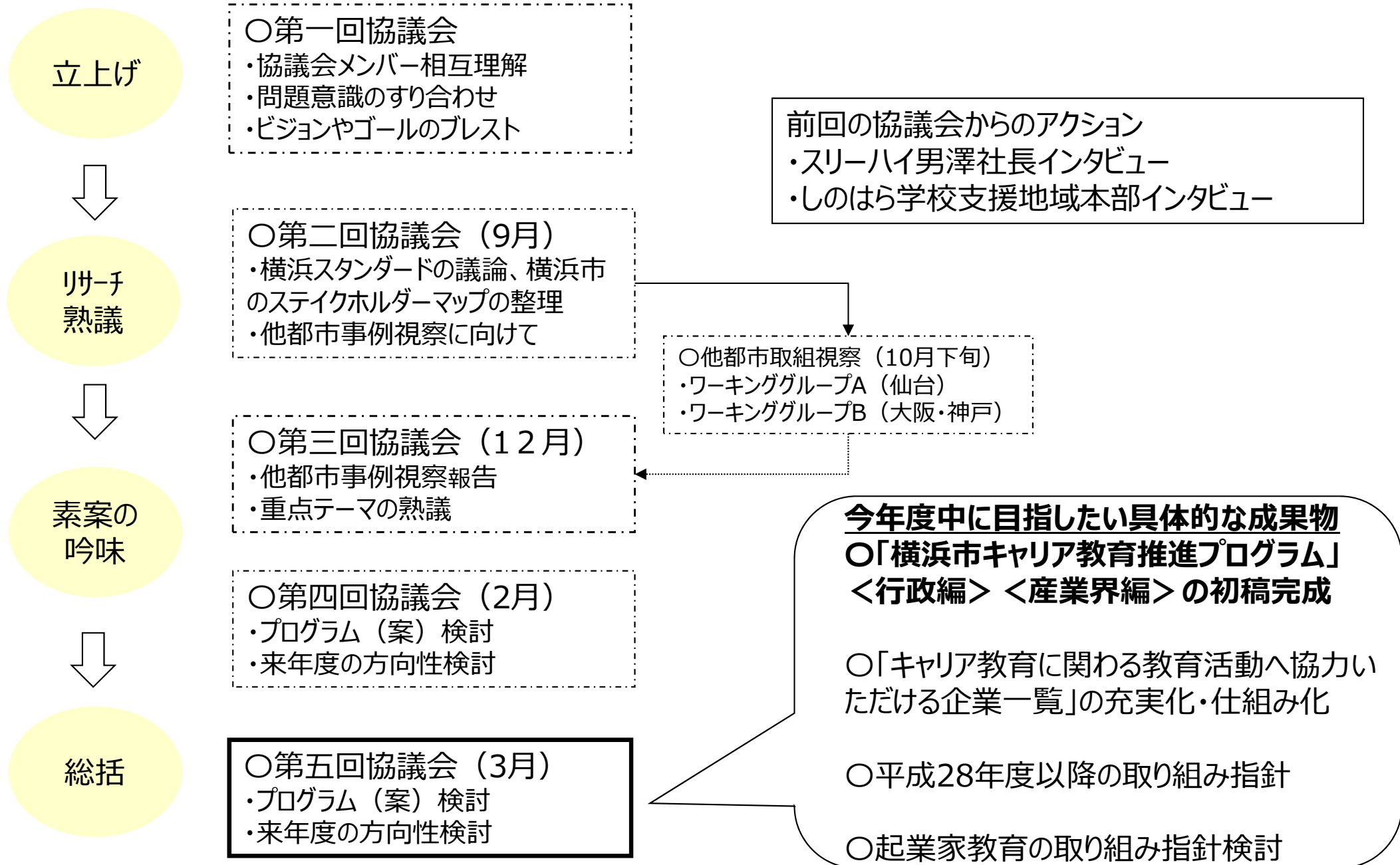
## 3. 未来にわたって継続していける、横浜らしい産・学連携の仕組みを構築していくため

- 学校・地域コーディネーターや、教育委員会、産業界等が、うまく情報共有 & 機能し合えるインフラの検討

# 上記目的達成のために、議事運営の上でのグランドルール

肩書や役職を（なるべく）外して、率直に意見を言い合う場作りを！

# 今回の協議会の大まかなスケジュール（案）



# 今年度の成果の振り返り ～協議会の発足、熟議の積み重ね～

- 産業界、教育界、行政、様々なバックグラウンドを持つ皆様が集結！



- 以下のようなテーマを繰り返し、立場を超えて熟議。  
「どんな子どもたちを横浜で育てたいか？」  
「現状のキャリア教育の問題点とは？」  
「どうしたら、地域ぐるみで子どもを育てる土壌を創っていけるか」

- 視察を経て、横浜で推進していくべき方向性について新しいアイデアも。  
「キャリア教育を条例等全市的に政策として取り組むことはできないか」  
「地域に根差した相談機能やマッチング機能をどう整えていくか。」  
「情報受発信の体制をさらに強化していくべき」



- プログラム策定に向け、横浜でのあるべき「自分づくり教育」を集中熟議

⇒ 成果物である「プログラム」は、来年度以降、各学校、産業界の皆様を中心に配布し、市民に広く浸透させていく方針を確認。



## 今年度、成果の振り返り ～「現状把握⇒アクション」のプロセス～

### 【市内学校関係】

#### ●キャリア教育実践推進ブロック

各学校の取り組みを共有し合い切磋琢磨しあった。

#### ●「自分づくり教育」事例集作成委員会

各学校で取り組みやすいように、事例集にまとめ市内全学校に配布予定。

#### ●横浜市立羽沢小学校

経済産業省「平成27年度起業家教育普及促進事業」を受託。実験的な取り組みを実施

### 【行政内】

●「職場体験受入」「出前授業」等についての現状調査を、全ての区局あてに実施。

●教育委員会内では学校支援・地域連携課の「学校・地域コーディネーター」の養成状況や現状、課題等情報交換。また教職員育成課が推進する「教職員インターン」の取り組みについて、300社近い協力企業があるとのことで、来年度以降の連携を模索。

●共創推進室の企業向けメールニュース、経済局ビジネスプランコンペとの連携模索スタート

### 【産業界】

●スタンダード協議会や地域貢献企業、横浜青年会議所、歯科医師会・獣医師会等へのヒアリング、キャリア教育への協力依頼を実施。

●海洋都市横浜うみ協議会において、「教育活動機会創出」についてワーキンググループで議論開始。

●3/9横浜型地域貢献企業と「教育関係者とのダイアログ」実施予定。

### 【政治】

●キャリア教育関連法制定の動き（藤田先生情報）  
●横浜市会で自民党から副市長へ質問。

### 【広報面】

●教育委員会WEB 内に、キャリア教育についての情報発信ページが新設。

●横浜市PTA連絡協議会発行「PTAよこはま」から取材依頼。

●「広報よこはま」等への情報掲載も継続検討。

## ■ 来年度に向けて

### 学校

#### コンテストへの参加

- 市立小中高等学校からの希望参加
- 起業家精神を育む教育活動を教育課程内で計画的に実施。産業界や行政と連携した課題解決型の学習を実現。

### 市長部局

#### コンテストの コンテンツ提供

- コンテンツの提供
- 課題解決の過程で子ども達のアイデアをブラッシュアップ
- 各局の施策と連携

### 小中高校生の起業家コンテスト（仮称）

#### 【目的】

- 横浜市キャリア教育推進プログラムの実践検証
- 各学校での起業家精神育成をねらいとした、キャリア教育実践の充実
- 子ども達の社会参画・地域貢献活動を促し、「社会に関わった教育課程」を実現
- 学校との連携の任り方モデルを産業界、行政へ提供  
※コンテストと実行委員会の運営については委託

#### 【コンテスト実行委員会】

- 産学官連携で、コンテスト企画運営について協議
- 委員会の母体は 27 年度文科省事業「地域キャリア教育支援協議会設置促進事業」の協議会

### 産業界

#### コンテストの コンテンツ提供 運営の協力

- コンテンツを提供
- 課題解決の過程で子ども達のアイデアをブラッシュアップ
- 視察に協力

### 横浜市教育委員会

#### コンテストの充実実施に向けた調整

- 産業界、行政等との連携を密にした各学校が子どもや地域の実態に応じてコンテストへの参加ができるようなコンテスト設計
- 起業家精神育成に向けて計画的な実施ができるよう、各学校の立案した実施計画や実施内容等を適宜指導・支援
- 学校が企業等や行政と連携した活動を展開できるよう、必要に応じて橋渡
- コンテストにより実現された、優れた起業家精神育成の事例は、成果報告会で広く発信すると共に「自分づくり教育（横浜のキャリア教育）」事例集に掲載し、全市立学校へ発信する。

※平成 30 年度までに産業界等社会主体によるコンテストの企画実施へとシフトできるようにする。

## ■このようなことをお願いできたらと考えています。

- 1 コンテスト実施に向けた 実行委員会委員に・・・
- 2 子ども達に「起業家精神」を育成する学習へのサポート
  - ①子ども達と解決してみたい・子ども達に解決させたい ミッションの提供
  - ②子ども達の活動をブラッシュアップさせる 「プロの目」からの 助言、指導
  - ③子ども達の活動を充実させるための支援
- 3 子ども達の起業家精神をよりアップさせる、「起業家視察」のサポート
  - ①候補となる起業家さんの情報提供
  - ②視察を充実させるための支援
- 4 次年度への意欲を高め、自分づくり教育を広める「成果報告会」へのサポート
  - ①会場や機器等の提供
  - ②報告会を充実させるための支援